

令和2年3月2日

保護者 様

田村市立都路中学校長 中山 智成

### 令和元年度 後期学校評価結果のお知らせ

早春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、後期学校評価の集計結果概要についてお知らせいたします。生徒及び保護者の皆様からのご意見を今後の学校経営・運営に生かして参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

#### ◎ 保護者及び生徒アンケートの主な結果と今後の対応

保護者及び生徒アンケート集計結果の一覧は、別紙のとおりです。

(A: よく当てはまる、B: やや当てはまる、C: あまり当てはまらない、D: まったく当てはまらない)

- (1) 「楽しく学校へ通っている」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに8割を超えました。しかし、C・Dと回答した保護者・生徒が前期より増えていることから、Q-U調査の結果も参考にしながら個に応じた対応・支援を強化し、楽しく通える学校づくりを進めます。
- (2) 「授業が楽しく、よく分かり、学力が高まっている」のA・Bの割合は、生徒が8割程度であるのに対して、保護者のA・Bと回答した割合は6割に留まりました。また、「教職員は、分かる・できる・楽しい授業をするために、努力や工夫をしている」のA・Bの割合は、生徒9割程度・保護者8割程度でした。今後も、生徒一人一人の学力向上に責任を果たすため、授業改善に取り組みます。また、授業以外での発展学習や補充学習の機会を設け、個に応じた指導を充実させるようにしていきます。
- (3) 「家庭学習に、計画的に工夫しながら取り組んでいる」のA・Bの割合は、生徒が9割程度、保護者が7割程度でした。今後も、自己マネジメント力を育むための家庭学習のあり方を、小学校や家庭との連携・協力を図りながら検討していきます。
- (4) 「よい友人関係ができている」のA・Bの割合は、前期に引き続き保護者・生徒ともに9割程度でした。今後も、学校いじめ防止基本方針のもとに、いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、縦割り活動や豊かな体験活動の積極的な導入、地域の大人等との交流を積極的に図り、生徒の人間関係形成・社会形成能力を育んで参ります。
- (5) 「教職員は、生徒を理解することに努め、一人一人に応じた指導・支援をしている」「教職員は、連絡や相談がしやすく、対応も適切である」のA・Bの割合は、生徒が8割・保護者が7割程度でした。今後も、個に応じたきめ細かな学習指導、生徒一人一人を伸ばす積極的な生徒指導、家庭や地域、関係機関との連携・協力のもと、諸課題の未然防止と早期発見、早期対応を行い、解決に努めて参ります。
- (6) 「学校は、経営・運営方針や様々な取組（方策）について、分かりやすく説明している」のA・Bの割合は、保護者9割程度でしたが、「学校は、お知らせやホームページで、タイムリーに分かりやすく情報を提供している」のA・Bの割合は、保護者8割程度でした。今後は、学校での教育活動の様子について、これまで以上に保護者・地域の皆様が理解しやすい形式や言葉で伝えることに努めて参ります。

※ 生徒・保護者の皆様からいただいた、本校の教育活動に関する貴重なご意見を生かして、学校・家庭・地域等がそれぞれの役割に応じて、様々な課題に協働的に取り組むことができるように改善を図って参ります。ありがとうございました。